



H26～27年度 長浜海岸堤防改良工事



土佐湾黒潮ライン。

四国は高知県土佐市宇佐から高知市を抜け南国市にある高知竜馬空港までの土佐湾沿いを走る胸のすくようなドライブウェイです。途中には景勝桂浜もあり、眼前に広がる薄藍色の太平洋にまだ見ぬ異国の地を夢見る思いです。黒潮が近海を流れ温暖な土佐湾はホエールウォッチングが大人気です。

イルカやマッコウクジラ、ゴンドウクジラに交じって回遊する“海の貴婦人”ニタリクジラを観れる日本でも数少ないエリアです。この黒潮ラインの長浜海岸堤防改良工事にて「鋼管杭パネル」を採用いただきました。

■ 土木



webカタログもご覧下さい





H26～27年度 長浜海岸堤防改良工事



施工前



施工後



黒潮ライン 長浜海岸堤防改良工事概要
 堤防の耐震・液状化対策を行い、液状化による沈下、変形を抑えるとともに、津波による浸水を防ぐため、「鋼管杭工法」による堤防改良工事を行いました。
 「鋼管杭工法」は鋼管杭の自立壁としての作用により、津波が堤防を越えた場合でも粘り強い堤防として周辺の家屋や私たちの命を守ります。
 今回の工事は、既存の堤防にφ1000mmの鋼管杭を連続して打ち込み、その鋼管を覆うようにコンクリートパネルを設置するもので、景観に配慮した堤防を構築することができました。

堤防の上から薄藍色の土佐湾を見ていると、いつしか希望の芽が大きく膨らんでくるようです。

■ 鋼管杭パネル



■ 土木



webカタログもご覧下さい

現場住所 高知県高知市長浜
 施主名 四国地方整備局 高知河川国道事務所
 竣工年月 2016年 3月

納入製品 鋼管杭パネル 246個